



## Father's Day Catrina Caira

Just as Mother's Day is celebrated in May, Father's Day is celebrated in June, on the 3rd Sunday. There are many ways to celebrate Father's Day. Charity runs are very common on this day as fathers and children will run, cycle, or walk together in various races to raise money for things like cancer research or other charities. Presents like cards, gift certificates, books, equipment for hobbies, and clothing like neck ties are very popular. Handmade gifts and meals are also quite common.

This can also be a busy day at movie theaters, zoos, parks, museums, and golf courses as many fathers and children will spend the day together at these places. Some of these places let fathers come in for free on this day.

The first Father's day was celebrated in Spokane, Washington in 1910. As I talked a little about my mother for Mother's Day I will talk a little about my father for Father's Day.

My father was born in Scotland to Italian parents and moved to Canada when he was very young. He was a competitive gymnast in High School and loved fixing cars. While he never went to university he has acquired many licences and certificates over the years. He completely remodeled our house by himself, one room at a time. He taught me I can do anything I put my mind to, that there is a solution to every problem even if you haven't found it yet, the joy of making something from scratch, and so much more that I will always be thankful for.

### 【ちよつと豆知識】宮地晶子

from scratch(スクラッチ)という言葉が出ました。「ゼロから」という意味。競技のスタートラインを示すのに、棒切れで地面をひっかいたのが語源です。You should start learning English again from scratch.「英語をまた一からやり直さなくっちゃ」などという風に使います。スクラッチといえば、削って当たりを出すスクラッチ宝くじというのもありますね。

## 父の日 カトリーナ・カイラ

5月に母の日があるように、6月の第3日曜日には父の日があります。いろいろなお祝いをしますが、多いのがチャリティー・ラン。これは父親がさまざまなレースに出場し、走ったり自転車をこいだりして、がんの研究やその他の慈善事業のお金を募るものです。カードやギフト券、本、趣味の道具、ネクタイなどの衣類を贈るのもとても人気。手作品や食事も結構多いです。

また父の日には映画館や動物園、公園、博物館、ゴルフコースなどが父子で混み合います。父親は「入場料無料」という所もあります。

父の日が初めて祝福されたのは1910年、ワシントン州スポケーンでのことでした。先月は母の日に因んで母のことを少しお話したので、今回は、父のことをお話ししましょう。

父はイタリア系の両親のもと、スコットランドで生を受け、とても小さいうちにカナダに移住しました。高校では競技体操の選手で、車の修理が大好きでした。大学にこそ行きませんでした。長年にわたって多くの免許や資格を取得しました。家の改築も1人でコツコツと1部屋ずつ行いました。「本気になったら何でもできる」と私に教えてくれました。「今は見つかってなくても、どんな問題にもきつと解決策があること」「ゼロから何かを生み出す喜び」、ほかにもたくさん。だからずっと父には感謝し続けることでしょう。(訳:宮地晶子)

英語教育指導員 宮地晶子の

## エイゴノマナビカタ

第130回

## 「羊と鋼の森」と英語

突然ですが、「羊と鋼の森」が本屋大賞を取りましたね。作者宮下奈都さんは北海道に山村留学してただけあって、作品に北海道の風を感じます。

調律師を目指す若者が主人公で、「才能がないのかも…」と悩むのですが、最後は「才能はものすごく好きっていう気持ちなんじゃないか」と思い至るのです。「どんなことでも1万時間かければ形になるらしいから、悩むなら1万時間かけてから悩めばいい」。ひたむきに頑張ってくれるからこそヒントをくれる先輩もいます。

さて、本年度が始まって早、2カ月。新たに受け持った学年の生徒は、英語への関心が高い生徒が多く、最初から驚かされっ放し。自主的にノートを出す生徒がたくさん。そのやる気に感動です。

その内容は授業の復習、好きな歌、絵本とその訳、自由英作、問題集、などなど。そればかりか、「廊下で会ったら1分でもいいから英語で話をしたい」という生徒もいます。「どっからでもかかって来い!」です。ふと自分が中学生だったときのことを思い出します。

私の場合、勉強は得意ではなかったけれど英語だけは好きでした。友だちから借りた絵本を写してそれを訳したり、ひたすらビートルズを歌ったり。考えてみれば、中学生当時の私とこの子たちは似ているかも。この段階で「才能があるのか」と悩む必要なんてないですね。大事なものは「ものすごく好きだ」という気持ち。そして時間です。この主人公のように、頑張っている人にはヒントをくれる人も現れます。